

# とっとり 県議会だより

平成29年2月定例会

No.020  
Feb.  
2月  
議会

平成28年度あいサポート・アートとっとり展 金賞「自画像」

坂口真一郎さん



## ● 2月定例会の概要

2月定例会は2月22日、平井知事から総額3,494億円余の平成29年度鳥取県一般会計予算や鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例の一部改正など70議案が提案されて開会した。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と会派民進党が、一般質問には26名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中3月2日には、男女共同参画推進員の人事案件3議案が追加提案。3月3日には航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機の配備に関する全員協議会を開催して中国四国防衛局と知事から説明を受けた。また、3月7日には一般質問に先立ち、県立美術館整備基本構想に係る知事の考えが表明された。

審議の結果、平成29年度鳥取県一般会計予算のうち鳥取県立美術館整備推進事業について、建設候補地関係市町に説明責任を果たすことや鳥取藩ゆかりの絵師作品などは現在の県立博物館に残し学芸員を配置することなど4項目の意見を付し、73の知事提出議案全てを原案どおり可決、同意した。議員提出議案については、平成29年度分の政務活動費から領収書等の写しをインターネット公開するための政務活動費交付条例の一部改正や、北朝鮮による弾道ミサイル発射に関する意見書などの4議案を提案し、原案どおり可決した。

陳情については、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の今国会での成立を求める意見書の提出についての陳情など2件が趣旨採択となったほか、8件を不採択と決し、3月23日に30日間の会期を閉じた。

# 代表質問

## 鳥取県議会自由民主党

選挙区 境港市  
安田 優子 議員



### 世界情勢の変化と県政の方向性

**問** 米トランプ大統領の就任、英のEU離脱等世界情勢の変化と県内への影響をどう見るか。米英の政治変革の要因は、全世界のボーダレス化と格差社会の出現が挙げられるが、目指す社会のあり方、県政の方向性としてどう対応するか。

**答** 移民の是非をめぐり世界の流動性が高まっているが、経済の実相はどうしようもなくボーダレス化が進んでおり、その中に本県経済も組み込まれている。県内企業が国際情勢を捉えた経済活動を行っていく支援に戦略的に取り組む。格差社会に対し、本県も一定の政策、支援が必要だ。人と人、家と家、地域と地域で蜂の巣のような緊密さ、安心を用意することも大切で、自主防災組織や企業間連携、正規雇用の確保、人材の育成が課題解決の目印になる。

### 平井県政の課題

**問** 本年1月1日現在の本県人口は、20年連続減少で56万8,775人となった。これに対し、県の元気づくり総合戦略は合計特殊出生率の向上による自然人口増を目指しているが、出産可能年齢の女性を増やさなければ自然人口増につながらない。本県の人口増加のためには出生率の向上とともに若い女性にとって魅力的で住みやすい鳥取県を目指すべきだと考えるが、知事の所見を伺う。

**答** 全く同感で、政策的に強化していい分野と思う。女性の活躍の場、女性が住みたいと思う所になることで人口の自然増も社会増も生まれてくる。

**問** 生産年齢人口が著しく減少する今日、女性の社会参画は時代の要請であり、待機児童ゼロと保育士の待遇改善は必須の課題。南部町の保育士大量退職の例もあり、市町村長の理解が必要である。

**答** 待機児童のゼロ目標達成は、新年度も継続してできそうだが、年度途中の受入れについての課題は残る。保育士の処遇改善は市町村も実感し始めており、県も支援する。

### 新年度予算の編成方針

**問** 平井知事3期目の後半期に入る新年度予算は総合戦略に基づく仕上げのときであり、人口減少に対する挑戦に拍車をかけるとともに、人口減でも持続可能な地域づくりを力強く進めていかねばならない。加えて中部地震からの復興や大雪被害への対応を柱に災害に強い地域づくりを目指しつつ美術館建設という大きな課題に立ち向かう年になるが、予算編成にあたっての基本的認識を伺う。

**答** 非常に厳しい財源状況と社会保障費の増や災害対策の必要から基金残高300億円を割ってしまうこととなったが、未来に向けてやるべきことはきちんと計上しようという考え方で不要不急の事業見直しや遊休資産の売却、行財政改革等で行くりをした。地方債の返済が29年度ピークで30年度以降は下がっていくので基金も取り戻し得る。

### 参議院議員選挙の合区解消

**問** 我が県は小さな県だが鳥取から地方創生を果たそうと一生懸命頑張っている。多くの県政課題の中には国政との連携なくしては解決できないことも多く、また激動する政治、経済、社会情勢のなかこの国のあり様に対し地方の声を反映させることも大切で、何としても合区解消を果たし、次の参院選挙では必ず本県から議員を送り出さねばならない。合区解消は我が県の喫緊にして最大の課題である。私たちは今、合区選挙で味わたった悔しさと無念さをバネにして憲法改正というハードルに向かっていかねばならない。平井知事には県民の願いをしっかりと受け止め、地方自治を守り、分権を推進する全国知事会のリーダーとして果敢に立ち向かっていただきたい。知事の所見は。

**答** 憲法が今日果たして妥当か。憲法の基本理念は揺るぐ必要はないし、国民も望んでいないが、時代の変遷とともにそぐわないことがある。地方自治について都道府県をはっきりと位置づけ地方財政や条例の自主権とをあわせて選挙制度も書き込めば裁判所の判決も大きく変わる。改正は今議論が始まったところだが、我々も声をあげていく必要がある。同じような問題意識をもつ他の知事とも連帯しながら全国知事会で声をあげていったり、国への働きかけも引き続きやって参りたい。



# 代表質問

## 会派民進党

選挙区 米子市  
森 雅幹 議員



### 県立美術館について

**問** 新美術館においては教育普及に特に力を入れていただきたい。小学校4年生5,010人を全員招待するとして計画が進んでいる。どのようなプログラムを美術館で準備をするのか？子どもたちを美術館に招いて一番伝えたいことは「作品を見るおもしろさ」だ。それには、少人数での対話型鑑賞こそが欠かせない。各学校が全て来館できる仕組み、予めの、ボランティアの養成、プログラムの準備が必要だ。教育長の所見を求める。

**答** (教育長) 未来を担う子どもたちの芸術への関心や創造性を高めるといった視点を基本構想に盛り込むことが必要。提案はいずれも大切にすべき視点、あるいは検討すべき課題と思っている。学芸員・教員だけでなくボランティアの活躍が必要。美術館と学校とがしっかりと連携をし、系統的に進める支援センターのような機能をぜひ新美術館には持たせたいと議論している。センターはあらかじめ準備も進める機能として考えている。

### ブラック企業について

**問** 労働局が、長時間労働や賃金不払い残業が疑われる事業所を重点監督した結果、指導したのが21事業所。県は把握をしているのか、また、補助金を出す際の要件にできないのか？若者がブラック企業に就職したがために精神疾患を発症し、首になった上、一生を台なしにされてしまうケースが多々ある。経営者も労働者も労働基準法の知識がない場合が多く、そのためにも高校での労働法制の授業は重要だ。どんな取り組みをしているか？毎年新入社員を募集するが、何カ月かで全部退職、また毎回募集する。そんな若者を使い捨てにする企業もある。退職の理由を追及しなくてはいけない。県版ハローワークで情報を出すべき。

**答** 労働局の指導の段階では、事業所名も含めて行政指導の内容は非公開、県では把握できない。指導

状況を補助金交付の要件にすることは現状では困難。労働法令違反については、できる限り国との情報共有が図れるように今後も協議をしていく。

(教育長) 高校では労働団体と連携してつくった冊子「働きはじめるあなたへ」を高校3年生全員に配布し、学習なども進めている。米子高校では連合鳥取の協力により、労働法と働く者の権利のテーマで講演会を開催した。引き続き努力していく。

### 農協改革、指定生乳団体について

**問** 規制改革推進会議は全農の購買事業の見直し、全農の農産物委託販売から買い取り販売へ、JAの信用事業の譲渡、指定生乳生産者団体制度の見直し等を柱とする農協改革意見書を提出した。全農改革部分は一定の理解ができるものの、現在の農協は唯一信用事業での黒字で、組織を維持し、本来の仕事である営農指導事業等を行っているため、信用事業がなくなれば、地域JAはまさに消滅だ。また、生乳の特性として、保存ができない、毎日生産される量を調整できない、消費期限が短いこと等によって消費の川下である大きな流通業者が価格決定力を持っている。生産者が対等に価格交渉をするためには、本制度は間違いなく必要な制度だ。持続可能な方向は？生産者団体と一緒に行動すべき。

**答** 心配なのは、信用事業に切り込んでいくのではないかということだ。信用事業で営農指導を賄っているのが今の単位農協の実態。この辺に鑑みたま慎重な改革でなければならない。関係者とも一体となって声を上げていく。仰せの御趣旨を踏まえ、今後も農業団体の活力が失われないように、また継続的な乳牛の生産、乳牛の飼育、牛乳の生産が進むように国に対して求めていく。

### 魚食の推進について

**問** 魚は対面販売からパック詰め、展示販売に急速に変わっている。結果、サバ、アジ等一部の魚種のみが販売され、料理方法も食べ方もわからない家庭が急増し、家庭での水産物消費量は年々減り続けている。店頭で消費者に直接アドバイスする仮称お魚アドバイザー制度が創設できないか？

**答** 魚食のアドバイザーはいいアイデア。県の事業で魚のさばき方などの番組制作など工夫をしてきているが、新年度予算の運用の中で対応したい。

# 一般質問

2月定例会では、26人の議員が一般質問を行いました。

本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

## 今後の雪害対策について



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

**問** ①今回の豪雪では除雪作業員の数と経験の不足があった。除雪の研修を県が行えば除雪能力を向上させることができるのではないかと②除雪の出動基準があやふやなので判断基準と出動体制を構築すべきでは？

**答** ①教訓を胸に刻み対策に邁進したい。除雪人材の育成事業について事業者側と調整したい②現状の出動基準は10センチの積雪となっているが、新年度に向けて業者と調整し、5～10センチなど、幅を持った基準にするなど、改めていきたい。

## 農産物の国際認証 グローバルGAP(※)



澤 紀男 議員

選挙区 米子市  
会派 公明党

**問** 安全な農産物の国際認証として最もレベルの高いグローバルGAPがある。東京オリンピック開催時の食の調達基準にもなっている。全国の農業高校で唯一、青森県立五所川原農林高校がグローバルGAPを取得しているが、世界を見通した農業人材育成の教育として県内の農業高校でのグローバルGAP取得に向け検討することも必要と考えるが教育長に伺う。

**答** (教育長)五所川原農林高校が教育の中でどのように生かしているのか視察し研究する。

## 新しいがん治療への対応



前田 八壽彦 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** がんの新たな治療法として分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬が登場している。本県のがん拠点病院の医師を県外の医療機関に派遣し、長足の進歩を遂げているがん治療を学ぶ制度を考えてはどうか。

**答** 新しい医療の力で、がんの死亡率全国ワースト3位から改善の兆しがある。新しい治療薬等、がん治療の研修は大切。本県で症例の多い肺がんや胃がん、肝がんを優先的に、県外の指折りの病院での専門研修への支援について早速関係者と協議する。

※ GAP…農業生産現場において、食品の安全確保などに向けた適切な農業生産を実施するための管理のポイントを整理、実践、記録する取り組み。

## 高齢者の貧困対策について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** 社会の超高齢化に伴う孤独死、高齢者犯罪の増加などの問題の根底には高齢者の貧困問題があると言われていたが、これは根深いものであり、一朝一夕で解決するものではなく、国はもちろん、地域全体で取り組むべき問題だが、県としても何らかの対応をすべきと考えるが。

**答** 子どもの貧困と同様の問題であり、新年度改定の鳥取県高齢者の元気と福祉のプランの中に高齢者の貧困について、一つのカテゴリーとして市町村や現場の声を聴いてまとめていきたい。

## 除雪対策 こども食堂



坂野 経三郎 議員

選挙区 鳥取市  
会派 民進党

**問** 除雪対策について①新潟県上越市のように除雪車にGPSを取り付け、動きをリアルタイムでネット公開②県道と市道を一括一元化した除雪体制に③SNSを活用した情報収集。以上について取り組んではどうか。

**答** ①市町村と話し合う②市町村と相談する③研究を深めたい。

**問** 子供の格差は、大人の責任で是正していかななくてはならない。こども食堂の取り組みを問う。

**答** こども食堂の平成31年度の設定目標を、15食堂から、少なくとも30食堂に引き上げる。



## 中部地震激甚指定 美術館建設問題



長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市  
会派 無所属

**問** ①倉吉市の中部地震被害について、再調査の結果により局地激甚災害の指定を国に求めているが、美術館の実現に向けて知事、教育長の所感を伺う。

**答** ①公営住宅災害査定が残っており適用の可能性はあるので求めていく②議論の末にできた基本構想を起点とし深化させ全県の施設として仕上げたい。(教育長)オープンで真摯な検討、県民意識調査などを通じて県民の理解も深まったと思う。関係機関のネットワーク構築など県立の美術館となるよう努力する。

## 農林業振興政策、 環境大学のあり方



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①TPPは頓挫したが、アメリカとの2国間交渉を見据え、県内農業保護・振興政策が必要ではないか②林業振興のために造林公社の役割を再考してはどうか③公立大学としての環境大学のあり方を問う。

**答** ①庁内の農林部局も含め、国際経済変動対策のプロジェクトチームを編成し対応する②人材育成・研修等業務を拡張するの一案かもしれない③県内出身者割合は相対的に低い傾向。公立大学の使命として県内出身者を増やす努力をしていく。

## 道路網の整備促進 北条用水路の改修



横山 隆義 議員

選挙区 東伯郡  
会派 希望(のぞみ)

**問** ①山陰自動車道のうち未整備の北条道路の早期全線開通と北条湯原道路の整備促進は中部圏域にとって重要事項。早期実現を望む②北条用水路の改修は、その役割から、水路施設整備事業ではなく農村地域防災減災事業とし早期着工を望む。

**答** ①災害時の輸送路、積雪時の代替路等の様々な機能が今回証明された。決意も新たに道路の接続に全力を挙げていきたい②防災減災事業の可能性を国と協議していきたい。そのため29年度にしっかりと調査したい。

## 観光産業の振興と 景観形成の必要性



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市  
会派 希望(のぞみ)

**問** 中部地震からの復興に向けて産業としての観光の振興が必要ではないか?そのためには良好な景観の形成が必要だと考えるが、これまでの取り組みは十分ではなかったのではないかと?

**答** 産業としての観光振興は、まずはそれぞれの市町村や広域の地域が戦略を実行し、県はそれらの取り組みで、地域だけでは賅い切れないものを広域的にサポートしていく。景観については、デザイナー的に修景をつくる取り組みがあちこちで生まれるようにしたい。

## コメ政策改革と 美術館構想への対応



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市  
会派 民進党

**問** ①来年産米からの米政策改革に対して、米の需給調整と飼料用米などの交付金の法制化を国に求めるべき②美術館構想に、美術を通じた学び、対話型鑑賞や学校授業との連携という視点が盛り込まれた。県教委各課にまたがる関わりが必要だ。

**答** ①需給調整の責任を果たすことと、交付金法制化ではなく予算総額の確保を国に求める②(教育長)29年度、博物館内の検討チームと、県教委各課と学校現場の組織横断PT(\*)とを立ち上げ、リンクさせて検討する。

\* PT…プロジェクトチームの略

## 雪対応・産後ケア WEB・美術館



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①豪雪時、各企業で出勤前に休業判断出来るよう経済界と協議を②産後ケア施設を増やす方策を③バナー広告の代わりに観光グルメ等お勧め記事を配信できるシステム構築を④美術館だけでなく全県アートピア構想を具体化する検討委の設置を。

**答** ①企業側と対策を協議したい②認知度を高め利用促進を図る支援を強化したい③イベントサイト等に観光・グルメ情報が行く工夫は可能④アートピア構想を盛り上げるのは賛成。検討の場作りを県教委と協議する。

## 美術館の理念と プロセスについて



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** 検討委員会、専門委員会、教育委員会の議事録を読むと、最初からアンケートを念頭に鳥取市2ヶ所を含む候補地とするなど、審議の過程や内容が作為的誘導だ。また、アンケート結果についても3候補地の差は誤差の範囲という専門家の意見を無視した基本構想ではないか。

**答** 基本構想がゴールではなく、本当に県民立と言えるよう説明責任を尽くす。道路のことも含め、教育委員会で解決がつかない所は執行部も一緒に重荷を背負って行く覚悟である。

## 農業に関わる 認証制度について



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡  
会派 自由民主党

**問** ①GAP(※1)認証は輸出や流通面で強い競争力を発揮する。本県での必要性と今後の対応を伺う②衛生管理の国際基準HACCP(※2)の導入が、早ければ2018年には全ての食品事業者に義務づけられる。資金的、人的支援が緊急に必要では。

**答** ①世界的にはグローバルGAPを求める時代が来る。高いレベルのGAP認証を狙う戦略でいく②支援体制を改めて考え直し、世界と戦える本県の農林水産業・食品加工業の支援をしていきたい。

## 美術館建設は県民に 十分な説明を



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** 位置的な県の真ん中でなく、情報が集まる県庁所在地に置くべきとの意見を聞く。また、偏った報道が流れ不満を抱く人が多くいる。この状況で決めることは、県民を混乱させ、美術館建設に希望が持てないと感じる。知事、教育長の所感は。

**答** もう一回やり直すことは、逆に県民の間に混乱が起きる。民主主義の力を信じたい。(教育長) 予算議決の暁には、速やかに、鳥取市議会、関係市町村を回り基本構想内容を丁寧に誠実に説明させていただく。

## 災害時の支え愛と 障がい者スポーツ



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** ①中部地震や大雪を踏まえた地域の支え愛の考え方をあいサポート条例と防災危機管理条例の中に盛り込むべきでは。②布勢の障がい者スポーツ拠点整備のスケジュール感はどうか。

**答** ①「災害時支え愛活動」や自治会単位で自主的に開設する「支え愛避難所」を新たな災害対策として考え、防災危機管理条例、あいサポート条例に盛り込んでいきたい②6月までに構想を取りまとめ、パラリンピック前の平成31年度に完成できるよう、ねじを巻いていく。

## 産廃処分場事業計画 縦覧やり直しを



錦織 陽子 議員

選挙区 米子市  
会派 共産党

**問** 処分場事業計画書の縦覧は土地関係が48頁も抜かれ、市民の指摘を受け追加した。なぜ抜いたのか。計画地の47%は米子市有地であり、平成4年の開発協定は一般廃棄物処分場に利用が限定され、産廃への変更はまだだ。こうしたことを市民に隠したのではないか。

**答** 縦覧は土地所有者等の情報まで求められておらず、私有地もあり個人情報に配慮した。追加自体は条例規定に該当しない。用途変更は事業の是非が整った段階とする。

## 数字で見る鳥取県



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

**問** ①10年前との比較で製造業の事業所数、出荷額の減少をどのように考えるか②農林漁業は市場縮小を考えれば頑張っているが、2次産品、加工業に、より取り組んではどうか。

**答** ①大企業が撤退し出荷額が減少したが、企業誘致も進み出荷額ベースで7年ぶりに戻って来ている。1兆円あった製造品出荷額が戻ることを目指す②付加価値を高めるよう応分に県の政策も割いていく。加工場が揃っていない所もあり、本県の課題として取り組んでいく。

※1 GAP…農業生産現場において、食品の安全確保などに向けた適切な農業生産を実施するための管理のポイントを整理、実践、記録する取り組み。

※2 HACCP…食品を製造する際に工程上の危害を起す要因を分析し、それを最も効率よく管理できる部分を連続的に管理して安全を確保する管理手法。



## カタログギフトに 県産品売り込みを



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡  
会派 民進党

**問** 県産品の販売促進が取り組まれているが、冠婚葬祭用のカタログギフトに県産品が一つもない。返礼品用のカタログに県産品の掲載をしていただく戦略を検討したらどうか。また、ふるさと納税の返礼用に市町村が作成しているカタログを活用して、県内版の冠婚葬祭返礼用のカタログができるか。

**答** 新たに冠婚葬祭を手掛けている業者に売り込み、攻勢をかけたい。県内版カタログギフトについては、できるかできないかを含め研究したい。

## 美術館問題、県住 水道料金徴収委託



银杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** ①美術館②先日の表明で「足し算」と言われたが具体的には？  
①総意でない場所に決定してはいけない②不利益を被る東部の県民の気持ちに思いが至らない。倉吉決定を撤回し、県民、特に東部の賛同を得る努力を②県営住宅の水道料金徴収委託は。

**答** ①②従来の博物館と新しい美術館の役割分担について配慮する③立ち止まれば結局できなくなる④東部のことも含めて、皆さんからお話も聞きながら詳細を決めていく⑤入居者、管理人の費用負担は求めない。

## 核兵器廃絶、美術館、 県警職員処分



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市  
会派 共産党

**問** ①核兵器廃絶ヒバクシャ署名を②UDタクシー(※1)障がい者料金安く③国保の国減額見直し生かし小児医療費無料に④中部地震一部損壊支援の制度化⑤地震復興これから。美術館中止を。経費削減PFIやる業者あるのか⑥県警職員の公務員試験口利きや暴力団事務所出入りが開示請求で明らかに。処分重くし発表を。

**答** ①署名する②話をしたい③現時点では考えてない④検討し議会に諮る⑤(教育長)現段階何とも言えない⑥(警察本部長)警察庁指針を参考に個別の事案毎に判断。

## 中小零細企業対策 ジビエ、家庭保育



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市  
会派 民進党

**問** ①中小零細企業の休廃業対策は喫緊の課題。支援策は②山、田畑を荒す猪と鹿の捕獲27年度約15,000頭。活用の為のジビエ振興は③家庭内保育支援事業が女性を家に縛らないようその目的を伝え、孤立化防止のネウボラ(※2)充実やマイ保育園(※3)を。

**答** ①現場の声を聴き、事業引継ぎ支援センターの体制の充実を図る②西部に振興組織ができれば応援し、今後の体制づくりを協議する③正しくPRする。ネウボラ、マイ保育園は市町村と情報共有。いろいろ研究してもらいたい。

## 淀江産廃処分場 エリア外へも説明を



松田 正 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 条例上の区域外の皆さんの気持ちにどう応えていくかが今計画を推進するための絶対条件であると思う。条例上の区域外の皆さんの理解をどのようにして求める考えなのか。

**答** 地元の住民の理解が得られているという段階になったら、自治連合会、商工会、漁協など、求めがあれば、環境管理事業センターとよく相談して、県が出向いて、許可した処分場の整備計画、地域振興策等を説明するということについてはやぶさかではない。

## 県西部の 環状道路について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 鳥取県西部の外環状道路のミッシングリンクをつないでいくことが重要と考える。外環状道路として日野川西側に皆生諏訪線を検討すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

**答** 米子市南側から国道180号、181号、東西方向の山陰道などの幹線道路が市街地中心部に放射状に流れている関係で、市街地が渋滞しやすい状況にあるのが現状。今後地元と相談し、県と市の役割分担を協議しながら、今後の道のあり方について考えていきたい。

※1 UD タクシー…ユニバーサルデザインタクシーの略。誰もが利用しやすい新しいタクシー車両。

※2 ネウボラ…妊娠から出産、子育てまで自治体が切れ目なくサポートするしくみ。

※3 マイ保育園…育児に対する不安感や負担感を解消するため、各地域の保育所を身近な子育て支援施設と位置づけ、保育所入所前から登録保育園でのサービスを受けられるようにするもの。

## 成長を切り拓く 人材の創出について



**野坂 道明 議員**

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 県民の稼ぐ力をいかに作るかの観点から①兼業・副業の推進②奨学金について、大学入学年度からの登録や起業する場合の優遇措置など支援制度の見直し③実践的ビジネスサロン・スクールの設置等に取り組むべき。

**答** ①活力や成長力が生まれると思う。国の調査をフォローアップしながら広めていく②出資者と調整のうえ工夫したい③提案された神戸の事例のように成長の基軸を担うような起業を目指し、新しいタイプのファンドの運用や組み換えを検討したい。

## 観光戦略 いじめ問題



**浜田 一哉 議員**

選挙区 境港市  
会派 自由民主党

**問** ①観光客の増加が見込まれる中、JR境線の観光列車化を図られるようJRに働きかけてはどうか②重大ないじめ問題が確認できた場合の県の対応は？

**答** ①妖怪列車のパワーアップを含め、沿線を盛り上げるように境港や米子の観光協会と協議しJRに働きかけたい②(教育長)調査結果は原則公表だが、特別な事情など個別に検討し判断する。担任一人が抱えるのではなく組織的に対応することで、重大事態につながるケースを防ぐことに力を注いでいく。

## 部落差別解消法 大山1300年祭



**福間 裕隆 議員**

選挙区 西伯郡  
会派 民進党

**問** ①部落差別解消推進法について⑦見解を問う⑧県・県教委そして運動体・有識者等で構成する新たな協議機関を設けて施策を協議しては⑨地域に似合った対策を②大山1300年祭は県がリーダーシップをとるべき。

**答** ①⑦基本理念が条文に書かれたのは特筆すべき(教育長)重要な意義があると認識⑧既存の協議会を拡充し、教育者の方々も意思統一が図れるように統一的な場所以関係者と議論したい⑨先導的な事例を作れるように考えたい②県の体制強化を図る。

会派正式名称

- 【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
- 【民進党】会派民進党
- 【公明党】公明党鳥取県議会議員団
- 【希望】鳥取県議会希望のぞみ
- 【共産党】日本共産党鳥取県議会議員団

### 答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部局長の答弁を含む)。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため別に表記した。

## お知らせ

### 県議会議を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

### ネットでもご覧になれます

本会議、常任委員会、全員協議会はインターネット(<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>)で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課(☎ 0857-26-7460)へお問い合わせ下さい。

### 6月定例会の日程案

期日	日程
6月 9日(金)	本会議(開会・提案理由説明)
12日(月)	常任委員会
13日(火)	本会議(代表質問)
15日(木)	本会議(一般質問・質疑)
16日(金)	
20日(火)	
21日(水)	
23日(金)	常任委員会
26日(月)	
28日(水)	特別委員会
29日(木)	特別委員会
30日(金)	本会議(採決・閉会)

※日程は変更の可能性ががあります。



## 平成29年2月定例会付議案等議決結果(全会一致で議決された議案)

議案等 番号	件名	議決 結果
②	平成29年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計予算	可決
③	平成29年度鳥取県公債管理特別会計予算	可決
④	平成29年度鳥取県給与集中管理特別会計予算	可決
⑤	平成29年度鳥取県母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決
⑥	平成29年度鳥取県天神川流域下水道事業特別会計予算	可決
⑦	平成29年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計予算	可決
⑧	平成29年度鳥取県就農支援資金貸付事業特別会計予算	可決
⑨	平成29年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑩	平成29年度鳥取県県営林事業特別会計予算	可決
⑪	平成29年度鳥取県県境港水産施設事業特別会計予算	可決
⑫	平成29年度鳥取県沿岸漁業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑬	平成29年度鳥取県港湾整備事業特別会計予算	可決
⑭	平成29年度鳥取県収入証紙特別会計予算	可決
⑮	平成29年度鳥取県県立学校農業実習特別会計予算	可決
⑯	平成29年度鳥取県英奨学事業特別会計予算	可決
⑰	平成29年度鳥取県県営病院事業会計予算	可決
⑱	平成28年度鳥取県一般会計補正予算	可決
⑲	平成28年度鳥取県公債管理特別会計補正予算	可決
㉑	平成28年度鳥取県天神川流域下水道事業特別会計補正予算	可決
㉒	平成28年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計補正予算	可決
㉓	平成28年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算	可決
㉔	平成28年度鳥取県県境港水産施設事業特別会計補正予算	可決
㉕	平成28年度鳥取県沿岸漁業改善資金助成事業特別会計補正予算	可決
㉖	平成28年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算	可決
㉗	平成28年度鳥取県英奨学事業特別会計補正予算	可決
㉘	平成28年度鳥取県県営埋立事業会計補正予算	可決
㉙	平成28年度鳥取県県営病院事業会計補正予算	可決
㉚	鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例の一部改正について	可決
㉛	鳥取県基金条例の一部改正について	可決
㉜	職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決
㉝	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
㉞	鳥取県公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	可決
㉟	鳥取県行政組織条例の一部改正について	可決

議案等 番号	件名	議決 結果
④④	鳥取県障害福祉サービス事業に関する条例の一部改正について	可決
④⑤	鳥取県障害児通所支援事業及び障害児入所施設に関する条例の一部改正について	可決
④⑥	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
④⑧	鳥取県手数料徴収条例の一部改正について	可決
④⑨	鳥取県警察職員定員条例の一部改正について	可決
⑤⑩	鳥取県病院局企業職員定数条例の一部改正について	可決
⑤⑪	工事請負契約(境漁港高度衛生管理型市場整備事業1号上屋新築工事(1工区建築))の締結について	可決
⑤⑫	工事請負契約(境漁港高度衛生管理型市場整備事業1号上屋新築工事(2工区建築))の締結について	可決
⑤⑬	財産を減額して貸し付けること(鳥取市人権交流プラザ及び鳥取市中央人権福祉センター用地)について	可決
⑤⑭	財産を減額して貸し付けること(大谷団地敷地)について	可決
⑤⑮	財産を減額して貸し付けること(鳥取県建設技術センターの建物及び用地)について	可決
⑤⑯	財産を無償で貸し付けること(皆生養護学校敷地)について	可決
⑤⑰	損害賠償請求事件に係る和解について	可決
⑤⑱	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑤⑲	関西広域連合の公平委員会の事務の受託に関する規約を定める協議について	可決
⑥⑩	地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の受託に関する規約を定める協議について	可決
⑥⑫	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立大山自然歴史館)について	可決
⑥⑬	県道の路線の認定(福部岩美線)について	可決
⑥⑭	県道の路線の廃止(本泉大瀬線)について	可決
⑥⑮	県道の路線の変更(鳥取福部線)について	可決
⑥⑯	県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
⑥⑰	土木その他の建設事業の施行に伴う市町村負担金について改正する議決の一部改正について	可決
⑥⑱	負担付きの寄附を受けることについて	可決
⑥⑲	包括外部監査契約の締結について	可決
⑦⑩	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
⑦⑫	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
⑦⑬	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
①	鳥取県議会情報公開条例の一部を改正する条例	可決
②	鳥取県政務活動費交付条例の一部を改正する条例	可決
③	過疎地域の追加と過疎対策事業債の対象事業の拡充を求める意見書	可決
④	北朝鮮による弾道ミサイル発射に関する意見書	可決

## 平成29年2月定例会付議案等議決結果(賛否が分かれた議案及び否決された議案)

議案等番号	件名	自由民主党						
		稲田 寿久	上村 忠史	内田 隆嗣	内田 博長	島谷 龍司	中島 規夫	西川 憲雄
①	平成29年度鳥取県一般会計予算 (附帯意見)鳥取県立美術館整備推進事業について	○	○	○	○	○	○	○
⑰	平成29年度鳥取県営電気事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○
⑱	平成29年度鳥取県営工業用水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○
⑲	平成29年度鳥取県営埋立事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○
⑳	鳥取県個人情報保護条例及び鳥取県情報公開条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉑	鳥取県職員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉒	鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉓	鳥取県附属機関条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉔	鳥取県特定個人情報の利用及び提供に関する条例及び鳥取県住民基本台帳法施行条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉕	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉖	鳥取県企業立地等事業助成条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉗	新生公立鳥取環境大学運営協議会規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○
㉘	鳥取県税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情28年-36	健康で安心して働き続けられるために保育士・学童保育指導員等の処遇を改善することについて	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 1	鳥取県非常勤職員及び臨時的任用職員の雇用条件改善及び非常勤職員等の処遇改善に必要な法整備と予算措置を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 2	特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律(IR整備推進法)の廃止を求める意見書の提出並びにギャンブル依存症対策の推進について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 3	オスプレイの墜落に抗議する意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 4	沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 5	いわゆる整体・リフレクソロジー等に係る事業所における医師法等の遵守徹底及び国に対し関係法令・ガイドラインの整備を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 6	県警における職務規律の維持と、各所属に対し県民への誓いの遵守徹底を求めること等について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 7	「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律(案)」の今国会での成立を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 8	「テロ等組織犯罪準備罪(共謀罪)法案を提出しないことを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情29年- 9	テロ等組織犯罪準備罪(共謀罪)の創設に反対する意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○

### 【凡例】

議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

賛否欄… [○] 賛成、[×] 反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。



自由民主党											民進党						公明党			のぞみ 希望	共産党		無所属	賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果				
野坂道明	浜崎晋一	浜田一哉	広谷直樹	福田俊史	藤井一博	藤縄喜和	前田八壽彦	松田正	安田優子	山口享	斉木正一	伊藤保	興治英夫	木村和久	坂野経三郎	浜田妙子	福岡裕隆	森雅幹	銀杏泰利	澤紀男	濱辺義孝	川部洋	横山隆義					市谷知子	錦織陽子	長谷川稔	福浜隆宏
<b>議案に対する賛否</b>																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	25	9	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	可決
<b>委員長報告に対する賛否</b>																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	21	13	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	31	3	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	32	2	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	28	6	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	10	34	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。  
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

# 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

## 総務教育常任委員会



2月定例会では、本委員会所管の平成28年度補正予算など3件の先議案件、平成29年度一般会計予算などの27件の議案を慎重に審議

し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、今議会で注目された県立美術館関連予算については、先議案件採決後の本会議において、知事が建設場所を倉吉市宮ラグビー場とする教育委員会の基本構想に沿って美術館整備に舵を切ると表明したことを受けて、本委員会でも予算の修正案が提出されるなど、大激論が交わされた。

最終的に、県立美術館建設の関連事業費を盛り込んだ一般会計予算は可決すべきものと決定した上で、建設候補地の関係市町に説明責任を果たす、鳥取藩ゆかりの絵師の作品などは県立博物館に残し、学芸員も配置する、など4項目の附帯意見を付すことを決定した。

## 福祉生活病院常任委員会



2月定例会では、本委員会所管の平成29年度一般会計予算をはじめとした17件の議案について、慎重審議の結果、いずれも原案

のとおり可決すべきものと決定し、併せて、新規の陳情2件及び継続分の陳情1件を審査した。

県外調査では、愛知県で「愛知方式」と呼ばれる特別養子縁組を前提とする新生児里親委託の取組を伺った。この愛知方式は、生まれてすぐに継続した親子関係を築くことができることから、「子どもの最善の利益」のため、本県においても参考にすべき取組であった。

地域に出向き広く県民の意見を聴く出前県議会を、「保育士・放課後児童支援員の現状と処遇改善に向けた取組」をテーマに倉吉市内で開催した。関係団体と行政の双方から保育士等の現状を聞くことができ、大変有意義なものとなった。

## 農林水産商工常任委員会



2月定例会では、本委員会所管の雪害対策関連をはじめとした平成28年度鳥取県一般会計補正予算等6件の先議議案、平成29年度鳥取

県一般会計予算等18件の議案について慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

補正予算の主な事業は、1月、2月の記録的豪雪により被害を受けた農林水産業者の施設等の復旧を支援する事業、工場等の新增設を行う企業を支援する事業などがあった。

平成29年度予算の主な事業は、鳥取県中部地震により被災した県内企業が復旧を目的として資金の借入れを行う際の負担を軽減する事業、成長3分野(医療機器・自動車・航空機)等で求められる人材の育成等を支援する事業、高収益な園芸品目の導入・拡大活動を支援する事業、沖合底引き網漁船の代船建造を支援する事業、漁業の安全操業を支援する事業などがあった。

## 地域振興県土警察常任委員会



2月定例会では、本委員会所管の平成29年度鳥取県一般会計予算など11議案について慎重に審議し、いずれの議案も妥当なもの

と認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

陳情については、新規分3件について慎重に審査を行った。このうち「オスプレイの墜落に抗議する意見書の提出について」及び「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書の提出について」は、外交・防衛は国の専権事項であることから不採択と決定した。

1月23日～25日には大分県、熊本県、佐賀県にて、熊本地震に係る風評被害の払拭に向けた観光誘客の取組などについて県外調査を実施した。

また、1月18日には国土交通省中国地方整備局を訪問し、鳥取県内の高速道路網整備、港湾整備、治水対策の促進等について要望書を提出した。